

2026年9月29日

鹿児島大学脳神経外科で

てんかん治療を受けた患者さんへ

(生命科学・医学系研究に関する情報)

当院では、以下の生命科学・医学系研究を実施しております。生命科学・医学系研究とは、従来の臨床研究、疫学研究、ヒトゲノム・遺伝子解析研究を含み、人を対象として国民の健康の保持増進、患者さんの傷病からの回復、生活の質の向上に役立つ知識を得る等を目的とする研究のことです。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

薬剤抵抗性てんかん患者における迷走神経刺激療法の術後転帰予測因子の検討

【研究の目的】

本研究は、鹿児島大学病院及び藤元総合病院、広島大学において薬剤抵抗性てんかんに対して、迷走神経刺激療法(VNS)を受けられた患者さんを対象として実施します。

この研究では、脳波検査所見、臨床的背景因子（年齢、てんかん病型、罹病期間等）、神経画像学的所見（MRI所見、SPECT・PET等の機能画像所見）、神経心理学的検査結果等の多面的な医学的情報を総合的に解析し、VNSの効果との関連性を検討いたします。これらの検討により、VNS治療により良好な効果が期待できる患者さんの特徴を明らかにし、将来的に薬剤抵抗性てんかんの治療法選択の最適化に寄与することを目的としております。

【研究の方法】

既存の診療情報から患者さんの背景（既往歴や背景にある疾患、年齢、性別、手術歴、てんかんの発症年齢や罹病期間など）、術前後の発作頻度、画像検査、脳波検査、術前後の神経心理学検査の変化などに関するデータを集積します。

【研究期間】

研究実施許可日 ～ 2031 年 3 月 31 日

【対象となる患者さん】

2012 年 1 月 1 日から 2030 年 12 月 31 日までに、鹿児島大学病院脳神経外科及び藤元総合病院脳神経外科、広島大学脳神経外科で薬剤抵抗性てんかんと診断され、迷走神経刺激療法(VNS)の治療を受けた患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

性別、年齢、生活習慣、既往歴、身長、体重、てんかん歴(発症年齢、罹病期間、病型、病因など)、外科治療歴、投薬内容、VNS の刺激状況、画像所見（MRI、Single Photon Emission Computed Tomography：SPECT 検査、Positron Emission Tomography: PET 検査）、脳波所見、神経生理学的検査などを解析に利用します。

【研究組織】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

鹿児島大学 脳神経外科 教授 花谷 亮典

藤元総合病院 脳神経外科 部長 山崎 一朗

広島大学大学院医系科学研究科 脳神経外科学 教授 堀江 信貴

【当院の研究責任者】

鹿児島大学 脳神経外科 教授 花谷 亮典

【本研究全体の研究代表者】

鹿児島大学 脳神経外科 教授 花谷 亮典

【試料・情報の管理責任者】

鹿児島大学病院長 石塚 賢治

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や生年月日など、患者さんを直接特定できる個人情報を特定の個人を識別することができないように加工します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科の研究費（使途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、いわゆる利益相反は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたについてのデータを削除します。ただし、学術発表などで公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番 1 号

鹿児島大学病院 脳神経外科

脳神経外科 花谷 亮典

電話 099-275-5375 FAX 099-265-4041